

委託事業実施内容報告書

平成21年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語指導者養成】

受託団体名 珠 洲 市

1 事業の趣旨・目的

奥能登地域には、在住外国人の数は年々増えていて現在 770 人ほど在住しているにも関わらず、日本語講師が一人もいない状態である。そのため、奥能登地域を超えて出ていなくても、奥能登地域の在住外国人を対象とした日本語講座を開催するため、生活レベルの日本語を教えるのに必要な基礎知識を持った講師を養成する。

2 企画委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
7月30日(木)15時～17時	珠洲市民交流センター3階第5会議室及び珠洲市多目的ホール	7人 (その他オブザーバーとして2人(県職員及び石川県国際交流協会事務長)参加)	日本語指導者教室の開催について	・日本語指導者教室の受講者費用負担について ・ちらし内容と配布方法について ・資料の事前準備の方法について ・授業内容の確認 ・必要な機材の確認 ・会場について
11月29日(日)15時30分～17時	珠洲市産業センター2階大会議室	8人 (受講修了者が今後の活動意向を伝えるため参加)	日本語教室への移行についての取り組み	・日本語教室の指導者及び助手への希望確認 ・在住外国人の教室参加への意向確認方法について ・会場について ・市役所の窓口対応について

【写真1】写真は、第2回会議(受講修了者に活動希望を聞き取り調査)



【写真2】講義風景



3 養成講座の内容について

- (1) 養成講座名 外国人に日本語を教えたい人のための基礎講座 in 奥能登
- (2) 養成講座の目標 奥能登地域の日本語を学びたいと考えている外国人住民の方に気軽に日本語を学べる環境づくりをするため、将来奥能登地区で日本語を教えたいと考えている方に日本語を教えるための基礎的な知識を提供するもの
- (3) 受講者の総数 26 人
- (4) 開催時間数(回数) 32 時間 (11 回)
- (5) 参加対象者の要件 外国人に対する日本語教育に興味を持つ方(外国語能力、教授経験は問わない)
- (6) 受講者の募集方法 別添チラシを各市町の多文化推進窓口や図書館に送付、及び当市で開催している国際交流サロンメンバー、教諭OBに配布。また、当市広報、CATVでも広報し募集をかけた。また、石川県国際交流協会のご協力で、国際交流協会の募集チラシの中にも掲載していただいた。
- (7) 研修会場
珠洲市多目的ホール ラポルト珠洲 及び 珠洲市産業センター 2階大会議室
- (8) 使用した教材・リソース
講師作成レジュメ 及び 参考図書
- (9) 講座内容(10回の予定だったが、模擬授業1回を追加し計11回で開催)

日時	講座名／学習内容	講師	受講者数
9月1日(火) 18時~21時	○オリエンテーション ○自己紹介 ○多文化共生とは	○北陸学院大学教授 後藤田 遊子 ○(財)石川県国際交流協会専任講師 今井 武	23人
9月5日(土) 10時~13時	○石川県に住む外国人住民の状況 ○日本語授業の実際	○(財)石川県国際交流協会専任講師 今井 武	19人
9月8日(火) 18時~21時	○外国語学習体験(直接法) ○外国語としての日本語を知る	○(財)石川県国際交流協会専任講師 今井 武 ○カンボジア・アスカジャセンター講師 コン・ブッタ	21人
9月17日(木) 18時~21時	○学習者を知る ○日本語教材を見る 1	○(財)石川県国際交流協会専任講師 今井 武	23人

9月26日(土) 10時~13時	○地域の日本語教育 ○自分を知る ○日本語教材を見る 2	○七尾を世界へひらく市民の会事務局長 大星 三千代 ○(財)石川県国際交流協会専任講師 今井 武	16人
10月1日(木) 18時~21時	○日本語の教室活動のいろいろ1 ○ことばの意味について考える	○(財)石川県国際交流協会専任講師 今井 武	20人
10月17日(土) 10時~13時	○日本語の教室活動のいろいろ2 ○授業の流れ	○(財)石川県国際交流協会専任講師 今井 武	18人
10月22日(木) 18時~21時	○「授業を考える」 1	○(財)石川県国際交流協会専任講師 今井 武	21人
10月26日(月) 18時~21時	○「授業を考える」 2 ○授業発表	○(財)石川県国際交流協会専任講師 今井 武	23人
10月29日(木) 18時~21時	○「授業を考える」 3 ○授業発表	○(財)石川県国際交流協会専任講師 今井 武 ○能登町 ALT サーバス・マシュー・リー ○穴水町 ALT ミドルトン・ブレット ○珠洲市 ALT エリカ・ベル	24人
11月29日(日) 13時30分~15時30分	○模擬授業	○七尾を世界へひらく市民の会事務局長 大星 三千代 ○同会 日本語講師 村元 道子 ○同会 日本語講師 大森 美樹 ○(財)石川県国際交流協会専任講師 今井 武	18人

(10) 講座の評価

① 受講生に対するアンケート

ア. アンケート1 (H21. 11. 29 回収)修了者 24名 回答者 17名

1. 今後講師をやってみたいと思いますか？

- a 講師としてやってみたい 1名 b 助手としてやってみたい 9名
c やらない 4名 d その他(講師・助手ともにやってみたい) 3名
・講師としての実力がまだないので助手からやりたいという人が多かった。

2. 何人くらいまでOKですか？(講師及び助手希望の方 13名の複数回答)

- ・学習者 5名に対し、先生が 2人程度の割合。 1名
・5名くらい 4名
・2名 3名
・3名 1名
・分からない 1名
・無回答 3名

3. 希望時間帯(講師及び助手希望の方 13名の複数回答)

- ・平日午前 2名
・平日午後 3名
・平日夜 5名
・土午前 2名
・土午後 3名
・日午前 3名
・日午後 3名
・日夜 3名

イ. アンケート2 (H22. 1. 12)修了者 24名 回答者 18名

1. この講座をどこで知りましたか？

- a 広報で 8名 b ちらしで 2名 c 知人から 7名 d その他 1名

2. 講座の内容はいかがでしたか？

- a よかった 16名 b まあまあよかった 1名 c ふつう 1名
d あまりよくなかった 0名 e 全然よくなかった 0名

【理由】

- ・現場のお話を聞いたのは貴重でした。

- ・教える外国人に対してのちゃんとした対応ができるように注意するところとかとても本格的でした。
- ・日本語という言語をもう一度見直すことができたし、自分でも何か役にたてそうと思った。
- ・現状を理解でき、また具体的な教え方も内容に盛り込まれていたため。
- ・内容が色々組み込まれており良かったから。
- ・講師 今井先生の授業(進め方、内容、人柄etc)がとても良かった。わかりやすかった。
- ・実際に日本語教室を持っていらっしゃる方のお話を聞けたり、教える時のノウハウ、参考書なども教えていただいたので。
- ・先生の一生懸命さが伝わったから。
- ・日本語をもう一度考えることが出来た。
- ・会社内で技能研修生が多数いる関係でコミュニケーション手段、日本語教育手段を学びたかった。
- ・今まで触れたことのない内容の講義だった。日本語についてあらためて考えることができた。
- ・「外国人のための日本語」と、「私たちが話している母国語としての日本語」に多くの違いがある事が分かった。そして、もう一度日本語を考える良い機会になった。
- ・以前より興味があったことなのでとても有り難いと思った。
- ・外国人の友人も多く、彼らが困っていることを知っているのも力になりたかったので、この講座はありがたかったです。
- ・大変参考になりとても良かったと思います。
- ・今回は基礎の基礎だと思いますが、文法の事などももっと知りたかった。
- ・私には難しすぎた。

3. 期間(3時間×10回及び模擬授業2時間)について

- a 短かった 2名
- b ちょうどよかった 9名
- c ふつう 4名
- d 長すぎる 3名

【理由】

- ・まだまだ学び足りないと思う。
- ・まだ十分に消化しきれていない。
- ・実際に教室を立ち上げることを考えると短いと感じるが、アシスタントとして始めるにはちょうどだと感じる。
- ・夜仕事を終えてからの時間は少しきついものがあり、これくらいがちょうどよい。
- ・仕事をしながら、都合をつけながらなので、あれ以上期間が長いと続きそうもない。
- ・時間に不満を感じなかったから。

- ・飽きが来ない程度で、短からず丁度でした。
- ・これ以上になると長い気がして受けない気持ちになれない。
- ・第 1 回目の最初の講座としては、ちょうど良い期間だと思います。
- ・出席できない時もあったが、なんとかほぼ出られたので。
- ・平日の 18 時から 21 時は少し大変だったが、いろいろな事を考えるとやむを得ないと思う。
- ・家のこともあるし、この程度がちょうどいいです。
- ・平日の夜だと、出やすいけれど、土曜日は仕事があるので出にくかった。
- ・きっかけづくりとしてはよかったですと思います。
- ・個人的に時間の都合がつけにくかっただけです。
- ・内容的にはこの位必要だとは思いましたが、出席することが大変だったからです。
- ・疲れた。

4. 講師・スタッフについて

- a よかった 16 名 b まあまあよかった 2 名 c ふつう 0 名
- d あまりよくなかった 0 名 e 全然よくなかった 0 名

【理由】

- ・やる気を出させる人柄でした。
- ・先生の話がなかなか面白かった。
- ・講師、スタッフともに優しく親切だった。ありがとうございました。
- ・とても親切にいてねいに教えてくださり感謝している。スタッフの方も一緒に考えてくださってありがとうございます。
- ・スタッフの方が、企画、講座中の補助、講座終了後の連絡まで本当に頭が下がるほど動いていただいた。ありがとうございます。
- ・講師や助手の方がバラエティに富んでいてよかった。自分で考えた授業を受けて下さった外国人の助手の方からの適切なアドバイスは本当に参考になりました。
- ・七尾からわざわざ来ていただいたり授業を見学させていただきありがたかったです。
- ・講師の方はスペシャリストだと思ったし、スタッフにはよく準備や手立てをしてもらえた。
- ・休んだ時の資料や学ぶため教えるための参考書も多く用意して下さり、対処がとても行き届いていた。
- ・受講中も受講後も熱心に教えて下さった。(情報も)
- ・皆さん丁寧で親切でした。毎回金沢から来て下さった今井先生には感謝です。
- ・とてもわかりやすく、スタッフの方も色々お世話していただき助かりました。
- ・親切にいただいたから。

・分りやすかった。

5. 講座を受けて

日本語学習を必要とする「外国人」の事情が

- a よくわかった 5名 b まあまあわかった 11名 c ふつう 2名
d あまり分らなかつた 0名 e 全然分らなかつた 0名

【理由】

- ・身近にいる外国人の努力をあらためて感じる機会となった。
- ・仕事上、面倒を見ている関係で勉強になりました。
- ・自分が勤務している会社にも中国人研修生がいたので、重ね合わせて理解することができました。
- ・日本語しか通じない珠洲に住む外国人の方々にもっと安心して生活してもらえたらいいなと思って。
- ・今まで深く考えた事がなかったがいろいろと気付かされた。
- ・困難な状況にいる人もいるが、意外と本国で勉強してくる人もいて上手に話す人もいるんだと思った。
- ・実際に外国の人を教えていらつしゃる今井先生の体験を交えた話が組み込まれていて、ひしひしと伝わってきた。
- ・英語圏以外の方の事情がわかって勉強になりました。
- ・よく分かるためにはもっと時間が必要だと思ったから。
- ・事情はよく分りましたが、外国人の方々も仕事や日々の生活が忙しく集まりたくても集まれない方もいらつしゃると思います。
- ・在日外国人と個人的に接する機会がないので「分らない」見えていても「見えない、考えない」ところから少し前進したと思う。
- ・中国(出身)の方の様子は少し理解できたが、インドネシア、タイ、英語圏の人達が「日本語学習」に対してどのような考えでいるのかわからない。
- ・接点がないとなかなか現状を知る事は難しい。
- ・もっといろんな事情があるだろうと思うから
- ・能登在住の例が少なかつたように感じました。

6. これからのことで、改善点、要望、意見等もしございましたらお書き下さい。

- ・これっきりにしなくて、金沢で実施されている内容の半分でも能登で実施して下さい。
- ・この講座の中級が珠洲で受講できませんか？
- ・開始時刻が18時で参加しやすかつた。
- ・スタッフの方が、私達の不勉強につきあって下さって助言をいただいたりして、あり

がとうございます。これからもよろしくお願い致します。

- ・講座は貴重な体験でした。ありがとうございました。楽しかったです。
- ・日本語教室を開催するための参加者の組織や連絡体制を作ってほしい。
- ・日本語講師が集まって質問しあえたり勉強したりする部屋を貸してもらえたら良いと思います。
- ・場所の提供
- ・場所の提供、授業に使った参考図書の貸し出しをお願いします。
- ・会場準備、受講生募集、講座の開講運営の手伝いをしてほしい。
- ・珠洲市だけでなく、奥能登のほかの地域のメンバーも連絡会に入れてほしい。
- ・今から珠洲にずっと住む外国人の方々中心に日本語教室を呼び掛けるようにすべきだと思います。特に自分一人で外に出られない方々に声がけする。
- ・金銭的なバックアップ

② 実施主体からの研修内容結果評価

1. 評価できる点

- ・今回、奥能登地区で初めての日本語指導者を養成する講座を開催したところ、主催者側では、最初10名ほどくらいと思っていたが、それを上回る人数の申し込みがあり開催できたことがよかったと思った。
- ・受講生の中には、外国人、企業担当者、退職教員、一般の方、そして60を済んだ方から20歳代の方までバラエティに富んでおり、また参加率も概ね6割以上であり、参加者にとっても有意義な講座であったとかがえられる。
- ・奥能登ではこのような講座は初めてであり、講座の内容も直接法の体験をしたり、模擬授業の見学をしたりと実学も交えてのものであったため、参加者の興味をひいた。
- ・修了後のアンケートにもあるとおり、講師・助手として何らかの関わりを持ちたいという方が多く、講座を開催した意義があった。

2. 反省すべき点

- ・講師・助手としてやりたい方は多いが、行政主導でやったため、今後自ら事務局としてやりたいという方の養成には届かなかったように思う。今後、その意識の醸成を生み出すことが大事。
- ・参加者たちが思っていたより、日本語の指導が大変だということが分かり、更なる指導方法を学ばないとこのままでできるかという不安があるので、今後の研修についての方策を図りたい。

③ 実施主体からの外国人支援体制等今後の計画

- ・珠洲市としても珠洲市にもう永住する可能性のある在住外国人を中心に日本語教室連絡会をたちあげ、日本語教室のたちあげを支援していく。
- ・日本語教室を数回実施していく中で指導者の経験が進んだら、市民課に連絡窓口を置く予定。
- ・市民課窓口に最初に配布するガイドブックの多言語分の作成を手伝ってもらおう。
- ・各公民館との協力体制を引き、外国人を巻き込んだ研修企画をたちあげていく。

(11) 事業の成果

① 他事業との連携

- ・地域在住の中国人妻の団体より、日本語教室が開講するなら受講したいという希望を得ている。最初はそこから初めて、活動を企業研修生まで広げていきたい。
- ・石川県の多文化推進事業のモデル地区に選定されているので、そこで事業を繰り広げる中で講師として活用する。

② 研修後の人材活用

- ・今回の受講修了者から希望者を募り、日本語連絡会をたちあげ、日本語教室講師への移行を図る。
- ・また、受講者の中には企業担当者も参加しており、その受講者においては、その担当者を中心に本講座で習ったことを生かす予定。

(12) 今後の課題

- ・行政主導から民間主導または個人主導へどう方向転換をするかが課題である。
- ・ボランティアとしてやりたい方の中にも、無償でいい方と多少の有償を求める方とがおられる。どこまでをボランティアとできるのか整理する必要がある。また、今後企業へ話をかけていく段階で、企業の金銭的な負担についての考え方を確かめておく必要がある。
- ・研修修了生がさらなるステップアップ講座を望んでいるが、講座を受けられる金沢へ出ていくことは、お金と時間の都合などから無理があるので、どう開催していくかが課題である。

外国人に日本語を教えたい人のための基礎講座 in 奥能登

石川県の外国人登録者数は平成20年末で1万2千人を超えました。奥能登にも、日本語を学びたいと考えている外国人住民の方は多くいますが、現在は気軽に日本語を学べる状況ではありません。この講座では、将来奥能登地区で日本語を教えたいと考えている方に、日本語を教えるための基礎的な知識を提供するものです。

- 対象： 外国人に対する日本語教育に興味を持つ方（外国語能力、教授経験は問いません）
 会場： ラポルトすず（珠洲市飯田町1丁目1-8）
 受講料： 無料
 定員： 20名
 修了時証明： 出席した講義内容を明記した受講証明書を発行します。
 申し込み： チラシ裏面の申込用紙にて下記申込先までファックス、電子メール、郵送でお送りください。（申込用紙は <http://www.ifie.or.jp/ijsc/basics/index.html> からダウンロードもできます。）
 締め切り： 平成21年8月21日（金） ＊受講の可否は電話または電子メールでお知らせします。
 申し込み・問合せ先： 珠洲市役所観光交流課
 〒927-1295 珠洲市上戸町北方1-6-2
 TEL 0768-82-7776 FAX0768-82-5220
 E-mail kankou@city.suzu.ishikawa.jp
 講師・ゲスト：（財）石川県国際交流協会専任講師、県内在住外国人住民の方、県内大学講師ほか
 開講日時・講座内容： ＊講座内容は変更になる場合があります。

日にち	時間	内容
9月1日（火）	18:00-21:00	地域で外国人に教えるとは
9月5日（土）	10:00-13:00	外国語としての日本語を知る
9月8日（火）	18:00-21:00	学習者を知る、自分を知る
9月17日（木）	18:00-21:00	外国語学習体験、教室活動のいろいろ
9月26日（土）	10:00-13:00	日本語教材を見る1、練習ドリル
10月1日（木）	18:00-21:00	多文化共生社会と日本語教育
10月8日（木）	18:00-21:00	日本語教材を見る2、授業の流れ
10月17日（土）	10:00-13:00	授業を考えてみよう1
10月22日（木）	18:00-21:00	授業を考えてみよう2、発表
10月29日（木）	18:00-21:00	授業を考えてみよう3、発表

主催：珠洲市

協力：（財）石川県国際交流協会

平成 21 年度外国人に日本語を教えた人のための基礎講座 in 奥能登 受講申し込み用紙

平成 21 年 月 日

ふりがな		性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性
お名前			
ご連絡先	〒 _____ (市・郡・町) TEL : (_____) _____ FAX : (_____) _____ Eメール・アドレス : _____		
ご職業			
日本語指導歴	①日本語を外国人に教えたことが (ある ・ ない) ②教えたことがある方は下記の項目もご記入ください。 機関名、学校名 : _____ 教えた期間 : _____		
受講希望理由	当講座の受講をご希望になる理由を簡単にご記入ください。		

* 応募者多数の場合、抽選となります。

外国人に日本語を 教えたい人のための基礎講座

外国人住民に日本語を教える上で必要となる知識をご紹介しますとともに、地域で暮らす外国人住民に役立つ日本語授業とはどのようなものなのか、参加者同士の話し合いや体験を交えながら学びます。

基礎講座in奥能登

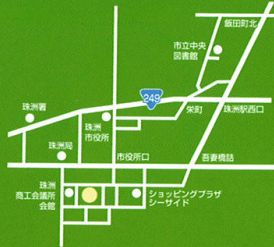
9/1(火)～10/29(水)

レポートせず
珠洲市飯田町1丁目1-8

定員
20名

回数
期間中の10回開講

募集
7月上旬予定



基礎講座in金沢

10/21(水)～12/16(水)

石川県国際交流センター
金沢市本町1-5-3 リファール4階

定員
30名

回数
期間中の10回開講

募集
9月上旬予定



お問い合わせ・お申し込み先

基礎講座に関する詳細、お申し込み方法については、県内日本語教育関連団体にお送りするチラシまたは下記ホームページをご覧ください。

<http://www.ifie.or.jp/ijsc/basics>

(財)石川県国際交流協会 石川県日本語・日本文化研修センター 担当:今井

TEL 076-222-5931 FAX 076-222-5932 mail koshi2@ifie.or.jp

